社会福祉法人ファミーユ高知だより

ふくらーむ

2023年 春・夏号 No.42

発行所　高知ハビリテーリングセンター　印刷科

スポーツって やっぱりいいなぁ～

私は小さい頃から短距離走が得意で運動会や体育の時間などが楽しくて仕方がありませんでした。一方、持久走は大の苦手で走っている途中で目的を見失い、いつも最後に叱られながらゴールしていました。中学は友達とバスケットボール（以下バスケ）部に入りましたが、まるでボールをもった持久走、鬼コーチは隣で練習している卓球部までボールを蹴り飛ばし、その蹴りで私たちの太ももは内出血、時には大きな手で頬をたたかれ傷心、それでも友達と支えあい３年間バスケを続けました。今の時代では考えられませんね。その後は大学のサークルでバスケを続ける程度で、社会人になってからもバスケと関わることはありませんでしたが、パートナーが６年前にバスケのスクールを立ち上げたことがきっかけで再びバスケに関わることになりました。対象は保育園児から中学生まで幅広く、まさに ゴールデンエイジ。最初はドリブルもつけないので私のほうが上手なのですが、短期間で私のレベルをあっという間に追い越し、中学になると私の力も及ばず、声も掛けてくれなくなります。子どもたちの成長のはやさに日々驚かされています。

先日、春から九州の大学へ進学するスクール卒業生が高知へ帰ってきて今のスクール生にドリブルやステップなどを教えてくれたのですが、さすがNBAの渡辺雄太を輩出した高校出身だけあり圧巻のスキル、そして強く優しく成長していました。血と汗と涙を流した中学時代のバスケと出会っていなかったら今の私があるのだろうかとふと考えることがありますが、過去の一つ一つが今の私を構成しており、バスケが大好きな子供たちとの素敵な出会いにつながっているのだと思います。バスケを通して次の世代へ、未来へつないでいく、教えているようで教えられている、スポーツっていいなあ～。

しごと・生活サポートセンター
ウェーブ
センター長　沼　慶子

CHIKAMORI HEALTH CARE GROUP

社会福祉法人　ファミーユ高知

●高知ハビリテーリングセンター
〒781-0313　高知市春野町内ノ谷63番地6
Tel（088）842-1921　　Fax（088）842-2601
◇障害者支援施設
・施設入所支援事業　　・短期入所支援事業（空床型/併設型）
・自立訓練事業（機能訓練/生活訓練）　　・生活介護事業
◇アルベーテ
・就労継続支援B型事業　・就労移行支援事業　・就労定着支援事業
◇相談支援事業所
・特定/障害児相談支援事業
◇キュール
・放課後等デイサービス事業
◇はるのハビリホーム
〒781-0313　高知市春野町内ノ谷23番地1
・共同生活援助事業

●しごと・生活サポートセンター ウェーブ
〒780-0056　高知県高知市北本町1丁目8-7
Tel（088）820-1221　　Fax（088）820-1223
◇就労継続支援A型事業「オウンパス」
◇就労継続支援B型事業「スウェル」
◇特定相談支援事業

●法人本部
〒781-0313　高知市春野町内ノ谷63番地6
Tel（088）842-1921　　Fax（088）842-5010

わたしの支援 きいてよ

ファミーユ高知の目指す職員像は「誰かの人生について本気で考えられる人」である。
2022 年度は新たな取り組みとして「個別事例報告」を実施。

常勤職員 34 名が 9 カ月に渡り発表を行った。発表当日はもちろん、業務の傍ら自分自身の支援や大切にしていることを振り返り、整理する機会は苦労も多かったと思うが、またとない機会になったと確信している。本取り組みについてはアンケート結果をもとに 6/24 に開催する「成果報告会」で報告し、今後につなげたいと考えている。

謝辞　本報告会開催にあたっては高知県立大学の畦地先生と源田先生には丁寧なフィードバックを個々の職員にしていただき、心より感謝致しております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

副センター長　中越太一

もちつきイベント

～お米のいいにおいと温かさ～

「おもちつき」は古より門松・しめ縄・初詣などと並んで正月を象徴する行事です。餅を作るには、米を「むす」「つく」「こねる」「まるめる」といった工程があり、今年もそれぞれをみんなで役割を決めて行いました。出来上がったお餅を見つめる利用者の瞳には、どこか子供の時の思い出を懐かしんでいる様にも見えました。新しい年を祝い、稲のパワーが宿ったお餅をもりもり食べて、今年も元気にみなさんと一緒に過ごしたいと思いました。

生活・訓練部　柏木雷太

ハビリふかせ部

初めての方、経験者の方一緒に釣りしませんか？意外と知られていない日本有数の釣り場がある高知にいるからこそ、釣りをしないのはもったいない！！

ルアーにテンヤ、ジギングにと沢山の種類のある釣りの中から、ふかせ釣りという釣り方を広めたい部です。ウキの沈む瞬間に、竿に乗る重みに、海面に上がってきた魚体に、心躍る事間違いなし！！最近は女性の釣り人も非常に多いので、女性の皆さんもぜひ！！

初めての方には１からしっかりレクチャーしますのでなんの心配もいりません。少しでも興味があったら体験してみませんか？釣れた魚をその場で捌いて食べるなんてことも楽しめます。人数がある程度集まったら大会なんかできたらいいな！なんて思っていますので、ぜひ参加してください。詳しくは施設入所大原もしくは島崎部長まで

生活・訓練部　大原聡一郎

高知龍馬マラソン 2023

ラビちゃん追っかけルポ

2月19日（日）、3年ぶりに開催！当日は小雨が降る中、6988名のランナーが県庁前をスタートしました。ファミーユ高知から3名が激走しその姿をカメラが捉えました。ラビちゃんの声援に応えて手を振ってくれ、とても楽しそうに、そして真剣に走る姿はとてもかっこよかったです。お疲れ様でした。

ウェーブ広報委員会

タイム：4時間26分43秒

毎日毎日走った自分を信じて頑張りました。
サブ4.5目標達成！

ハビリ
恒石美佐子

タイム：4時間20分23秒

老体に鞭打って走りました。
ピンクラビットや沿道の応援のお陰で完走できました。関わった全ての皆さんお疲れさまでした。

ウェーブ
孝橋義道

タイム：3時間48分52秒

やりました。サブ4達成‼
要因は
「応援」
「グランドコンディション」
「応援」です。
2024年サブ3.5目指します。

ハビリ
中越太一

厚生労働大臣表彰「令和4年度精神保健福祉事業功労者」表彰

27年間精神科医療・福祉分野において看護実践を行い、病院から地域まで広い分野の中で多職種チームにおいてのリーダーシップを発揮してきたこと。中でも精神疾患・障がい者を中心とした考えを常に持ち続け、地域から信頼される精神科医療・福祉の展開に貢献したとして、高知ハビリテーリングセンターの西岡由江が厚生労働大臣表彰「精神保健福祉事業功労者」を受賞した。今回の受賞にあたり、西岡は「障害の有無にかかわらず、社会参加の妨げとなる差別、偏見、障壁をなくし、人格と個性を尊重し支え合いながら、暮らしやすい社会をつくるにはどうすればよいか、これからも考え続けていきたい。今回の受賞がいただけたのは、支えてくれた周りの人たちのおかげ。本当に感謝したい」と話している。

高知県ソーシャルフットボールチーム CitRungs Tossa
西岡　由江 GM（Genki　兼　Genkin　Manager）さま

この度のご受賞、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。
これもひとえに、西岡さんの功績と誠実さの賜物とお喜び申し上げますとともに、今後のご健勝とますますのご活躍を心より祈念いたします。
宝塚歌劇団員のような声と笑顔が素敵な西岡さんが皆大好きです。
ご多用かと存じますが、どうぞご自愛ください。

海辺の杜ホスピタル　作業療法士
CitRungs Tossa　事務局長　佐野秀平

ファミーユ高知教育委員会 MVP

ファミーユ高知教育委員会が、2022 年度近森会グループ MVP チーム賞をいただきました。『誰かの人生について本気で考えられる人』を目指す職員像として掲げ、日々の支援の可視化・共有を図ることを目標に、事業所別の年度成果発表、各職員による個別事例発表会を企画・開催しました。職員全員の協力をいただき、職員個人や各事業所がなにを大切にしてどのような支援を行っているかをお互いに知るきっかけづくりができました。今年度も成長と学びの機会を企画してまいります。

生活・訓練部　藤本佐和子

●介護福祉士試験を受験して●

この度、無事に介護福祉士を取得することが出来ました。未経験・無資格で入職して始めは不安の日々でしたが、利用者の皆様や職員の皆様に支えて頂いたお陰で、やりがいを感じながら経験を積むことが出来、感謝致しております。得た知識を実践できるよう、利用者一人ひとりの気持ちに寄り添いながら適切な支援が出来るよう努めて参ります。まだ至らぬ所がありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

生活・訓練部　濵田陽子

キュール キュール春休み

春休み‼遠足・調理・花見など
たくさん活動しました。

児童・地域部　川渕佐織

人物ルポ 横川陽紀氏

2023 年 1 月、一人の青年が土佐市役所に就職しました。彼の名は横川陽紀（はるき）。彼が初めて当施設を利用したのは 15 歳。キュールでは少し人見知りで大人しい印象でしたが、少しずつ輪に加わりオセロ等を通して打ち解けていきました。卒業後は入所・生活訓練を利用。その頃には年配の方ともよく話し、気が利き周りを見られるようになっていました。後輩が利用し始めたことでリーダーシップも発揮できるようになりました。その後、一般就労を目指して就労移行を利用、土佐市役所の職場実習を経て就職。現在は総務課事務に携わっています。失敗することもありますが、職場の方に温かくご指導頂きながら、日々奮闘しています。

就労・相談部　瀧石公正

子ども仕事参観日 実施しました

2023年3月31日（金）に、「子どもお仕事参観日」を実施しました。当日、3家族のお子さん6名（小学2年生～高校1年生）が参加してくれました。

子どもに自分の仕事をみてもらうことに気恥ずかしさを覚えつつ、私の方がワクワクドキドキしながら過ごした一日となりました。子どもにとっても、いろいろな仕事があることの発見につながり、とても楽しい貴重な経験になりました。

生活・訓練部　土居文佳

職場に自分の子どもがおり、仕事のことを聞かれるという嬉し恥ずかし体験をさせていただきました。聞いたことをきちんとメモをとっていることや、大勢の前で挨拶をしている様子をみて、親が知らない一面を垣間見た気がします。
とても貴重な時間を作っていただき、ありがとうございました。

就労・相談部　元木智之

夕礼に参加した子供の「来てよかった。これからもお母さんをよろしくお願いします。」この挨拶には涙がでました。自分の名刺嬉しかったそうで帰宅後、母にも挨拶してくれました。

生活・訓練部　黒原美和

お仕事体験

高知ハビリテーリングセンター 体験見学の感想

ハビリテーリングセンターで見学と作業体験をしました。
見学では軽作業とクリーニングを見ました。
軽作業は箱折りをしていて、やってみたいなと思いました。
クリーニングの皆さんは集中して淡々と仕事をしていてすごいなと思いました。
就労移行支援の体験をしました。
パソコンの文字入力は少し難しかったです。
名刺交換は初めてでとても緊張しました。
グループホームはきれいでした。住んでみたいと思いました。

高知県立日高特別支援学校 高知しんほんまち分校
1年　堅田漣弥絢

日高特別支援学校高知しんほんまち分校の1年生が職場見学と作業体験をさせていただきました。職場見学では、軽作業やクリーニング、就労移行と、それぞれの仕事内容を見て生徒同士で「難しそう」「この作業やってみたい」などと話しており、自分に合う仕事について考えるきっかけになりました。

体験では、箱折りや洗濯物のポケットチェック、パソコンの文字入力などをさせていただきました。初めてのことに緊張しながらも、丁寧に支援していただき、ほとんどの生徒に「できた」「うれしい」という気持ちが生まれ、自信や就労への意欲につながりました。

また、グループホームも見学させていただいて、卒業後の生活を考える貴重な経験となりました。本当にありがとうございました。

高知県立日高特別支援学校 高知しんほんまち分校
教諭　川渕直哉

STEP UP!

UP!
2023年1月　クリーニング+JA
2021年3月　軽作業＋道路清掃
2020年3月利用開始　軽作業

笠原さんは2020年3月からウェーブのB型スウェル軽作業を利用開始しました。働く目的として「お仕事を頑張っていっぱい稼いで貯金と好きな物を買いたい」という思いがあり、毎月皆勤を達成することや作業のなかでの目標クリアなど目の前のことを一生懸命に頑張っていました。この3年新しいことへ臆することなくチャレンジしてきた結果、少しずつ作業の幅も広がり今年の1月からはB型クリーニングにステップアップしています。クリーニング業務と週に1回の施設外就労に参加するなど忙しい日々ですがいつも「がんばります」と前向きな笠原さんなので今後も期待しています。　スウェル　松坂みぎわ

この3年間で軽作業、道路清掃、施設外就労、クリーニングに挑戦しました。今はクリーニングのたたみと納品を頑張っています。これからも工賃アップを目標にしごとを頑張っていきたいです。

利用者
笠原聖矢

JA春野きゅうり出荷作業

JA高知県春野営農経済センターより、きゅうりの出荷の作業依頼がありました。オウンパスの業務以外の仕事にスタッフが携わることで、一般企業でのノルマ達成の難しさや稼ぐことを知り、力を高め、環境変化への対応や自分自身を分析することを目標とし、依頼を受けさせて頂くこととしました。携わったスタッフたちは回数を重ねるうちに環境や作業にも慣れてスピードも上がり、気持ちの面でもプラスの変化が見えるようになってきました。作業内容が変わったり機械の不調トラブルもありながら今日まで継続できています。JA担当者や一緒に働く方々から感謝の言葉を直接言われることもあり、それが励みや自信につながっているのだと思います。

オウンパス
森矢圭吾

会計実務講座

昨年8～10月にかけて社会福祉法人会計実務講座初級コースを受講させていただきました。自宅での通信授業と神奈川県の中央福祉学院ロフォス湘南にて集合研修に参加しました。集合研修は部屋に帰ってからもテキストを読み返した3日間。最終日に無事に終了テストに合格することができホッとしました。今回学んだ知識を業務で活かしていきたいと思います。

スウェル
細川孝行

情報は命！

この度、ネット環境やノートPCなどの入れ替えを大幅に行い、情報のセキュリティ強化と効率的に仕事ができるよう改善を行いました。構想からすべての作業が終了するまでにかかった日は約500日。

新しいシステムが私たちや利用者の情報を守ってくれると期待しています。

センター長　沼慶子

ブレースチェックラウンド 始動!!

今年度より、当センターを入所されている利用者、通所で利用されている利用者の補装具や車椅子をチェックする取り組みを開始します。目的としては、補装具や車椅子をはじめ、移動手段として日常的に使用している物品が安全に且つ正常機能を果たしているのかを確認します。そこで、不具合等が発見された場合に対処できる活動を心掛けていきます。また、最終的には利用者自身がセルフチェックできることを目標に掲げ利用者、支援員共に知識を高めていきたいと思います。

生活・訓練部
田村亨介

食のイベント お花見

新型コロナウイルスの影響でここ数年行えなかったお花見を久しぶりに3月29日に行いました。スタッフと利用者総勢100名程で、美味しいお弁当を食べ、天気にも恵まれ素晴らしいお花見日和となりました。久しぶりのお花見という事もあり利用者の皆さんも笑顔で溢れ楽しんでおられました。皆さん本当にご協力ありがとうございました。　生活・訓練部　藤岡英次

ピザ★寿司パーティ

1月下旬に、B型利用者に大人気ピザを2種類と握り寿司16貫セットの3つから選べる食のお楽しみ会を開催しました。

コロナ感染対策で、各科会場を分散しての食事でしたが、黙食しつつも舌鼓を打ち、食後は「おいしかった」「大満足！」と会話が弾みました。ハズレ無しクジ引きも同時開催。『♡』満載の景品が好評でした。　就労・相談部　野本生子

利用者さんの夢がハビリ・ウェーブふくらーむ

私は食べに行くのが好きです。昔はモーニングを食べに行くのが楽しみでした。今は飲食店でお昼食べたり、高知のイベントに参加してテイクアウトしたりするのが好きになってます。でも最近は体に気をつけて食べる様にしてます。歳を重ねるごとに太りやすくなったので少しでも体を動かす様に万歩計をつけてます。休日は30分位ウォーキングしたり自転車で遠出したり毎日青汁飲んだり体に良いと思うことを取り入れています。

就労継続支援Ｂ型 利用者　下司佳香

僕がここでお世話になってからしばらく経ちますが、最初の頃に比べるとだいぶ作業にも慣れてきて自分に自信を持てる様になりました。とは言え、まだまだ未熟な部分も多く、改善しなければと思う時もあります。
共通の趣味を持つ友人も出来て休憩時間に談笑したり、他の利用者の方と協力をして作業に取り組んだりと、色々と貴重な経験をさせて頂いて、毎日がとても充実しています。

具体的にはまだ決まっていませんが、ここで得た事を活かして将来的には人にも自分自身にも誇れる様になって、少しでも誰かの役に立つ仕事に就きたいです。

就労継続支援Ｂ型 利用者　又川侑平

リレーエッセイ 趣味について

私の趣味は、スポーツ全般好きなんですがその中でも高校から始めたサッカーは今でも現役でなんとか継続しています。蹴ってもボールが飛ばなかったり、若者たちには全く歯が立たず不甲斐なさを実感する年齢にはなってきましたが、やはり点を決めたり点に直結するパスを出した時の喜びは昇天する思いです！！そして、昨年行われたワールドカップサッカーの日本代表の活躍には非常に感動しました。高知県サッカーリーグでも“吉野の１ｍｍ”と言われるような活躍をしたいと考えています（(笑)）。今後も大好きなサッカー続けていくために、健康には気を付けようと思っております。　はるのハビリホーム　吉野竜二

連載 はるの Style 【Vol.13】

～Chance 到来～

【分蜂】

地球温暖化の影響か？桜の開花が年々早まっているように思う。

はちみつ師匠から「山桜が咲き」「雨が降った翌日」が日本みつばちの分蜂（新たな女王バチが誕生し、先輩女王バチが新たな巣を探す旅に出る）時期だと教えられた。例年は４月中旬頃であったが、今年４月上旬から各地で分蜂している情報が聞かれている。

そんな４月３日（月）新年度スタートに１本の電話が鳴る。「市場で蜂が巣を作っているので対応してくれませんか？」、ホームページを見て掛けてくれたとのこと... どのようなワードで検索したらヒットしたのか不明であるが、何がつながるか分からない現代にワクワク、ドキドキしながら出発。残念ながら西洋みつばちであったが、新たなきっかけに感謝。

日本みつばち待ってるよ～

副センター長　中越太一

季節の花

日本を代表する花といえば、３月下旬頃見ごろを迎える桜ですが、こちらの啓翁桜は冬(1月～３月頃)に花を咲かせる桜です。
一足早く 春の訪れを感じさせてくれました。

啓翁(ケイオウ)桜、カーネーション、トルコキキョウ、ユリ、アルストロメリア、デルフィニウム、ブプレウルム

生け花担当職員　小松　香

お知らせ　**入退職者掲載終了**　今回号より職員の入退職情報掲載は終了いたします。

利用状況

ハビリテーリングセンター

○2023年3月の見学件数
…… 20件

○3月の1日あたりの平均利用者数

自立訓練
・機能訓練(定員20名)　18.6名
・生活訓練(定員10名)　6.7名

生活介護（定員10名）
…… 9.8名

施設入所支援（定員40名）
…… 32.8名

アルベーテ
・就労継続支援B型(定員40名)
…… 42.3名
・就労移行支援（定員10名）
……6.7名
・就労定着支援…… 10名

キュール(放課後等デイサービス)
(定員10名) ……8.7名

はるのハビリホーム(定員36名)
・グループホーム…… 29.6名

ウェーブ

○2023年3月の見学件数
オウンパス …… 3件
スウェル …… 3件

○3月の1日あたりの平均利用者数
オウンパス(定員10名)… 7.9名
スウェル(定員40名)… 37.1名

編集後記

ふくらーむ委員になって早１年が経ちました。最初は何も分からず不安でいっぱい、手探りの日々…でしたが、現在は、なんとか慣れてきたかな？ という状況です。利用者さん・職員あってのふくらーむ。いつも素晴らしい記事・レイアウトありがとうございます。私も、力添えができるよう精進していきたいと思います。

【M.T】